

2023年11月16日(木)

685号

船橋市職労福祉支部

発行責任者 村上はつみ



自治労連千葉県本部 保育評議会総会開催

11月12日(日)、船橋市役所職員労働組合の上部団体である、自治労連千葉県本部の保育評議会総会が開催されました。
6単組11人(リアル参加9人、ウェブ参加2人)で行われました。

2022年度経過報告

昨年の総会から、今年11月3日に行われた「ちばっ子ミニ②」(裏面で報告しています)までの活動報告がありました。

各自治体の報告

採用年齢を30歳まで拡大した。産休・育休をとる人が増えている。来年度採用も必要数に足りていず引き続き採用を進めている状態。(八千代市)

ICT「コードモン」を急に取り入れ、連絡帳機能を使いたしたが、説明

不足、台数不足、ちよつとしたことでフリーズしたり、ライン登録したり使いにくかった。(習志野市)
研修が多い、任期付き保育士が多くなっている、正規保育士は過重労働で疲弊している。

配置基準、1歳児4:1、2歳児5:1へ見直し正規を増やしてほしいと要求している。(松戸市)



フリー保育士が減らされたら、やはり各園アップアップの状態になってしまった。夏休を11月までにしたが取り切れていない状態。任期付き会計年度任用職員は、募集し

ても来ない。コロナで休止していた、親子フェスタを復活する。(浦安市)

令和8年度から児童相談所が開設されるため、児童相談所開設準備課ができ、保育園からも異動している。今年度0歳児の入所が減ったためか、担任1人に子どもが4人のクラスが何園かできた。10月から、私立園が撤退した休日保育を、緊急で引き継ぎ、できる人と園長・主任で3月まで行うことになった。(船橋市)

賃金アップを要求。会計年度が集まらないというが、賃金や業務内容が大事。休みも取りにくいことを、職員課懇談で話した。(船橋市)

「消耗品をどのように買っているか?」話題になりました。

参加していた自治体では、大部分が、「今日頼めば明日には来る」と言っていました。また、「決まったお店のカードが各園にあり、そのカードで必要なものを購入し、領収書を提出している。」という話もありました。欲しいときにすぐに

手に入るシステムになっているようです。

船橋では、昨年度の市長交渉の時に、「欲しいものが発注時期になく買えない(種など)」「欲しいのに何か月も後の注文の時期まで待たないと頼めない」「頼んでもすぐに来ないので、頼みにくい」との話の中で、毎月注文できるようにになりましたが、他市はもっと便利でした。

2023年方針

- 子供の命と安全、保育士の生きがいを守り、保育の質を維持・向上させるために、最低基準を引き上げる運動を進めます
- 各地の情報を把握・共有し、保育を改善する運動につなげます
- 公的保育の堅持・拡充・保育の質の向上を目指す運動を進めます

● 健康で生き生き、働き甲斐のある職場づくりのため、職場の民主化と保育労働者の職員体制確保・労働条件の改善を掲げて闘います。また、労働安全衛生活動を重視し

て取り組みを強化します

● 会計年度任用職員制度への移行後の実態を把握し、ともに働く保育労働者として非正規労働者の賃金・労働条件の向上と正規化に取り組み、積極的に労働組合への加入を呼びかけます

● 学習会・交流会の参加を増やし、保育の質の向上、保育・子育てにかかわる団体・個人と共同を広げます

● 国の責任で、すべての子どもが質の高い保育を無償で受けられるよう運動を進めます

● 青年保育士労働者が運動や実践研究活動に積極的に参画し、時代を担う組合役員や保育者として成長できるように、青年の要求実現を柱に、対話、交流、活動の場を広げます

経過・決算・予算案・方針案が可決され、2023年度の保育評議会がスタートしました。

署名

「子どものための予算を大幅に増やし、保育・学童保育の基準・施策の抜本的改善を求める請願書」ご協力ありがとうございました。618筆提出しました。まだまだ受け付けています!

ちばっくミニ②

保育士向けの実践的研修会「ちばっくミニ②」が11月3日に開かれ、5単組13人が参加しました。

今回は、五感を使って自然とふれあう体験プログラムのネイチャーゲームを学びました。講師は、ネイチャーゲームインストラクターの、中西あつ子さんにお願いました。

〈参加者の声〉

とてもいいお天気の中、猪鼻城跡へ。向かう途中、気に入った落ち葉を5枚拾ってと先生から。



ゲーム『葉っぱじゃんけん』。「葉っぱじゃんけん、葉っぱぱ」勝った人が自分のお気に入りの葉っぱの気に入ったところを伝え、負けた人にあげます。

「ほんとー、小さくてかわいい」と共感してもらえると、なんか嬉しくてにっこり。

次に3人組で五感を働かせてビゴカードゲーム。『ちくちくするもの』色々触って、「これ、ちくちくするよ!」



『動物の

おとしもの』

「つめあとは?」

「羽根は?」

「う〇ちは?」

(笑)

城跡を走り回

りながら楽しみました。

最後は『お弁当作り』。木の実やいろいろな形の葉を思い思いに詰め込んで、ネーミングをつけて発表。美味しそうなお弁当ができました。経験したことのない自然物でのゲーム、その中で感じたこと、気づきは保育の引き出しを増やすだけでなく、自分を知り、相手を知ることができ、とても有意義な時間でした。